



創業35年の北越金型。小さいながら小矢部で頑張る職人気質の会社だ。北村 崇さんに金型業界とその将来などについて伺った。

「北越金型は父が独立して起こした会社なんです。僕は大学卒業後、他社に就職していたのですが、父から人材不足ということを知り、当時の仕事を辞めて北越金型に入ることにしました。」

「最初はとにかく覚える事が多くて苦痛でした。全部やらなければ...と思

い色々背負い込んでいたんでしょね。幸いにも周りに頼りになる方が沢山いてくれた。」

「自分は自分ができる事、例えばCADやプログラミングなどを全力で頑張るようになってます。」

会社に入って11年になるが、まだまだ覚えることは多く、現状に満足する事無く努力を続けていきたいと話す。

今ではお客さんとの打ち合わせにも参加するようになり、金型業界の状況についても色々分かってきたという。

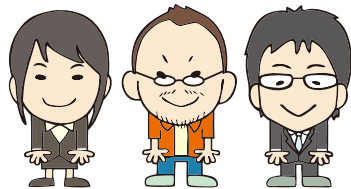
金型産業を 小矢部に残す

有限会社 北越金型

北村 崇

No.69

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



「父の頃は金型と言えは花形産業でしたが、今は外国勢、特に中国の台頭があり、本当に厳しくなってきた。」

「生き残っていくのは厳しい。でも、自分は会社で特色があれば生き残っていくと思う。」

北越金型の特徴とは... 「父は非常に職人気質で、たとえ金型金額が下がっても、製作においてはお客様の立場に立ち、使いやすい金型を」と絶対手抜きをしません。」

金型を使って製品を作る人や、その製品を利用する人の事を思い、安全で、スムーズに作業できるようにするための一工夫を忘れない。



また、閉鎖的な金型業界をもっと開放して、横の連携を作っていければ、

「そこをお客さまが見てくれて、信頼関係が保たれている。そういう父の想いを大事にしたい。」

厳しい状況にある金型産業だが、今後の日本に必要なかという質問に、個人の考えだけ...と前置きをしつつ

「日本に金型産業がなくなったら製造業は止まってしまう。日本はやはり物作りだと思っんです。その始まりになる金型は絶対必要。日本の繊細な技術をしっかりと提供していきたい。」

「地域に根づいた会社だからできることがある。」



「僕の子どもが北越金型を継がなくても、小矢部に金型の技術を、次の世代に継承していきたい。自分はそのに関わってほしいです。」

そう語る顔は誇らしげであった。

日本の金型業界を憂いつつも、まだ立ち直れる...と考える若者がこの小矢部にいることをぜひ覚えておいてほしい。

まだまだ日本はやっていけると熱い思いを話してくれた。

最後に、崇さんの好意で会社内の作業場を案内してもらった。数々の細かい道具、それらを扱う技術、そして、わずか0.001mm単位の精度で作業に励む社員の方々の眼差しは真剣そのもの。



プラスチック金型設計制作

有限会社 北越金型

〒932-0031 小矢部市岡695-1

TEL: 0766-68-0805

FAX: 0766-68-2812

Email: hokuetsu@p1.tst.ne.jp

HP: www.hokuetsumold.com

プレゼント



金型職人×ありプロ コラボ企画
ありがとうキーホルダー
名前の刻印入り 1名様

※ 当選後、打ち合わせをしてオーダーメイドとなります

募集期間：平成23年8月22日(月)まで

PC・携帯からのご応募：http://www.startaro.com/shop/

OYABE SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます

Oyabe Local SNS：http://www.sns.startaro.com/

職人の世界で
父親を尊敬する眼差しが
ステキだった。



店長の一言